

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成22年11月25日 (2010.11.25)

【公表番号】特表2007-528304(P2007-528304A)

【公表日】平成19年10月11日 (2007.10.11)

【年通号数】公開・登録公報2007-039

【出願番号】特願2006-530522(P2006-530522)

【国際特許分類】

B 2 9 C 43/30 (2006.01)

B 3 2 B 27/12 (2006.01)

B 2 9 K 23/00 (2006.01)

B 2 9 K 105/10 (2006.01)

B 2 9 L 9/00 (2006.01)

【F I】

B 2 9 C 43/30

B 3 2 B 27/12

B 2 9 K 23:00

B 2 9 K 105:10

B 2 9 L 9:00

【誤訳訂正書】

【提出日】平成22年10月8日 (2010.10.8)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ポリマー製品の製造方法であって、次の各工程：

(a) 連続層、すなわち、

(i) 配向化ポリマー材料のストランドで作られた第 1 の層；

(ii) ポリマー材料の第 2 の層；

(iii) 配向化ポリマー材料のストランドで作られた第 3 の層；

であって、該第 2 の層が、該第 1 および第 3 の層のピーク融解温度よりも低いピーク融解温度を持つ連続層を有する合着層を形成すること；

(b) 該第 1 の層の一部分を融解させ、該第 2 の層を融解させ、且つ該第 3 の層の一部分を融解させ、そして該合着層を圧着させるのに十分な時間、温度および圧力の条件に該合着層を供すること；および

(c) 該圧着化合着層を冷却すること；

を含み、

該第 1 の層の 10～30 体積％が融解し、該第 2 の層の 10～30 体積％が融解し、そして該第 2 の層が完全に融解することを特徴とし、

該第 1、第 2 および第 3 の層が、同じタイプのポリマー材料のものである、前記製造方法。

【請求項 2】

該第 2 の層が 5 μm～100 μm の厚さのものである、請求項 1 記載の製造方法。

【請求項 3】

該第 2 の層が、該第 1 及び第 3 の層と同じ化学組成及びグレードのものである、請求項

1 記載の方法。

【請求項 4】

該第 1 および第 3 の層の配向化ポリマー材料のストランドが、ポリエチレン、ポリプロピレン、ポリオキシメチレン、またはポリエステルのものである、請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載の製造方法。

【請求項 5】

該第 2 の層が、ポリエチレン、ポリプロピレン、ポリオキシメチレン、またはポリエステルのものである、請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項に記載の製造方法。

【請求項 6】

該第 2 の層が、該第 1 および第 3 の層のピーク融解温度よりも少なくとも 5℃ 低いピーク融解温度を有する、請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 項に記載の製造方法。

【請求項 7】

工程 (a) において該第 2 の層を予め成形して該第 1 の層または第 3 の層の上に敷く、請求項 1 ～ 6 のいずれか 1 項に記載の製造方法。

【請求項 8】

該第 2 の層がフィルムである、請求項 7 に記載の製造方法。

【請求項 9】

該圧着圧力が 10 MPa を超えない、請求項 1 ～ 8 のいずれか 1 項に記載の製造方法。

【請求項 10】

該第 1 及び第 3 の層が、平面テープから織られた織物である、請求項 1 ～ 9 のいずれか 1 項に記載の製造方法。

【請求項 11】

請求項 1 ～ 10 のいずれか 1 項に記載の方法により製造されたポリマー製品であって、第 1 および第 3 の層の未融解部分である配向化領域と、該第 1 および第 3 の層の融解させて冷却させた部分と一緒に、融解させて冷却させた第 2 の層により構成されている 低配向性結合領域 とを有するポリマー製品。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0011

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0011】

ストランドは、任意の適切な方法により、例えば、溶液、ゲルまたは融解成形、好ましくは融解成形により作ることができる。

好ましくは第 1 の層の各々の少なくとも 1%、好ましくは 3%、より好ましくは少なくとも 5% が融解する。特に好ましい態様では、第 1 の層の少なくとも 10% (第 1 の層の体積に対する体積%) が融解する。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0012

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0012】

好ましくは第 1 の層の 30% 以下、より好ましくは 25% 以下が融解する。特に好ましい態様では、第 1 の層の 20% 以下、特に 15% 以下 (第 1 の層の体積に対する体積%) が融解する。

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0013

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0013】

好ましくは第3の層の各々の少なくとも1%、好ましくは少なくとも3%、より好ましくは少なくとも5%が融解する。特に好ましい態様では、第3の層の少なくとも10%（第3の層の体積に対する体積%）が融解する。

【誤訳訂正5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0014

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0014】

好ましくは第3の層の30%以下、より好ましくは25%以下が融解する。特に好ましい態様では、第3の層の20%以下、特に15%以下（第3の層の体積に対する体積%）が融解する。

【誤訳訂正6】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0015

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0015】

好ましくは合着層の少なくとも1%、好ましくは少なくとも3%、より好ましくは少なくとも5%、最も好ましくは少なくとも10%（合着層全体の体積に対する体積%）が融解する。

好ましくは合着層の35%以下、より好ましくは25%以下、より好ましくは20%以下、最も好ましくは15%以下（合着層全体の体積に対する体積%）が融解する。